

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-1-3		事業名	水辺とのふれあい推進事業				
担当	環境局環境都市推進部環境対策課 山下 211-2882							
全体計画								
事業内容	<p>平成15年10月に策定した札幌市水環境計画に掲げる「豊かな水辺のある街」の実現に向けた施策の一環として、市民が水辺とのふれあいを豊かなものにするため、水環境保全に関する地域住民の理解促進、活動の活発化を図り、意見交換会・活動発表会の開催、市民活動に対する支援を行うほか、水生生物の生息状況を把握し市民に情報を提供する。</p> <p>また、水環境保全に関する市民、小学校、市民活動団体等相互の連携や情報の共有化に関するネットワーク化を推進していく。</p>			<年度別の事業内容>				
				<p><平成19年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺とのふれあい推進事業(継続事業) ・水生生物観察会への支援、市民活動成果発表会の開催 ・水生生物調査ハンドブックの増刷・配布 <p><平成20年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺とのふれあい推進事業(継続事業) ・水生生物観察会への支援、市民活動成果発表会の開催 ・水環境保全活動の実態把握 ・水質汚濁調査と併せて水生生物調査と文献調査等を行う <p><平成21年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺とのふれあい推進事業(継続事業) ・水生生物観察会への支援、市民活動成果発表会の開催 ・水環境保全活動の実態把握及び水環境連絡協議会の設置 ・ワークショップの開催 <p><平成22年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水辺とのふれあい推進事業(継続事業) ・水生生物観察会への支援、市民活動成果発表会の開催 ・水環境連絡協議会等の開催 				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)				
	<p>水辺とのふれあい推進事業(継続事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、学校教育及び市民団体と協働して水生生物観察会や市民活動事例発表会を実施した。 ・水生生物調査ハンドブックを増刷し配布した。 			<p>水辺とのふれあい推進事業(継続事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民、学校教育及び市民団体と協働した水生生物観察会や市民活動事例発表会の開催。 ・水環境保全活動の実態把握(市民の川辺宣言町内会等;町内会、事業場、市民活動団体) 				
達成目標の状況								
項 目			18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
地域独自の水環境目標設定数(累計)			-	-	-	-	3件	3件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)								
<p>市民との連携、市民参加 水生生物調査用品の提供・貸出、ハンドブックの配布等の支援事業を実施することにより、学校、地域での水環境保全活動の輪が着実に拡大していることから、今後も引き続き市民・市民団体、学校教育、区等と連携しながら、支援事業を推進していく。</p> <p>また、市民・市民活動団体、小学校等が相互に連携した水生生物観察会等が行われている。</p> <p>企業等との連携・協働</p> <ul style="list-style-type: none"> [資金協力] - [人材協力] - [情報協力] - [その他の協力] - <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>								

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		4-1-3			事業名	水辺とのふれあい推進事業						
評価(成果)						課題						
<p>水生生物観察会等の実施支援により、身近な水環境への関心が高まりつつあり、水生生物観察会の実施団体や参加者数、また、活動発表会の参加者が年々増加している。</p> <p>さらに、水生生物の観察においては小学校、活動団体、行政の相互の連携が図られ、また、活動発表会においても活動団体相互の連携や経験交流・情報交換等が行われているなど、ネットワークの構築に向け前進しつつあると考えている。</p>						<p>水環境保全に関する市民活動団体相互の連携や情報の共有化をより一層推進するためには、ネットワークの構築が必要である。</p>						
<p>水生生物調査用品の提供・貸出、ハンドブックの配布等の支援事業を実施することにより、学校、地域での水環境保全活動の輪が着実に拡大していることから、今後も引き続き学校教育、区等と連携しながら、支援事業を推進していく。</p> <p>20年度に水環境保全活動の実態把握(市民の川辺宣言町内会等;町内会、事業場、市民活動団体)を行う。</p> <p>また、21年度から22年度には、水環境連絡協議会の設置やワークショップを開催する。</p>												
事業費の推移												
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計						
計画	事業費	298	301	301	300	1,200						
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0					
		市債	0	0	0	0	0					
		その他	0	0	0	0	0					
		一般財源	298	301	301	300	1,200					
予算	事業費	298	386	-	-	684						
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0					
		市債	0	0			0					
		その他	0	0			0					
		一般財源	298	386			684					
実績	事業費	265	-	-	-	265						
	財源内訳	国・道支出金	0				0					
		市債	0				0					
		その他	0				0					
		一般財源	265				265					
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)								54.3%		
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)												
(全体)												
[19年度]												
[20年度]												